



年 頭 所 感

新年のご挨拶

大阪大学工業会会長 鈴木 胖

新年明けましておめでとうございます。旧年中は本会の活動に多大のご協力とご支援をいただき、まことに有難うございました。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、1919年に大阪高等学校の同窓会「大阪工業倶楽部」として発足した当会は、大阪大学工学部の時代1971年に「公益社団法人大阪工業会」として文部省の認可を受けました。2012年には法律の改正を受け「一般社団法人」に移行しました。現存の卒業生・在校生の人数は約4万人にのぼり、これを母体とする当会は大阪大学の部局等の同窓会の中でも最大の存在です。

当会は定款に従い、公益継続事業と共益事業（同窓会活動）という二つの事業を実施しています。

公益継続事業としては、

- (1) 各種講演会の開催及び援助、数学講座の開催、工場や施設あるいは工事現場の見学、科学技術展示会、ホームページ（Techno-Net Web）掲載による情報の伝達・啓発活動等の事業。
- (2) 大学の海外交流活動の援助・支援、科学技術に関する調査・研究活動に対する援助（寄附）、大阪大学工業会賞の授与等の事業。これらの援助・支援、工業会賞の授与の対象は工業会の会員に限られます。
- (3) 研究・科学論文誌「TECHNO NET」の刊行（年4回）。
- (4) 企業の協力を得て各種セミナーを開催し、会員・非会員を問わず学生のキャリア教育の推進。

共益的事业としては同窓会活動、すなわち会員を対象とした総会（年1回）、理事会（原則年2回）、支部総会（年1回）、支部役員会（原則年2回）等の開催。

当会上記の事業活動は卒業生、在校生、現任教員のうち会費を収めていただいている方すなわち会員により維持されています。会費は正会員6,000円/年、学生会員3,000円/年ですが、入会時に5万円を納入していただくと以降は年会費のいらぬ終身会員になることができます。当会としては終身会員制度を利用して、会員の皆様が生涯にわたり同窓会事業に積極的に参画・協力していただくことを切に希望しております。

当会の事業を活発化するには、大学との連携を一層緊密にし、大学の教育研究活動への工業会の支援を学生や教職員に身近に感じていただくことが基本的に重要であると考えています。昨年（2018）の年頭挨拶でご報告しましたように、工学研究科・工学部は大学本部の協力のもと、工学部地区にある従来の食堂が中心の福利厚生会館の耐震改修工事を行い、隣接して6階建ての吹田福利交流研究棟（名称；センテラス）を新たに建設されました。当会はこの機を捉え、センテラスの建設を大阪大学未来基金を介して支援（寄付）し、大学当局の了承を得て一昨年（2017）3月に当会事務局を大阪市内から同棟内に移転いたしました。

センテラスは6階建て、延床面積約3,700㎡の規模で、1階は食堂の拡張部分、2階は生協、3階は交流スペース・サロン、4～6階はオープンラボが設けられています。当会事務局は3階の交流スペース・サロンの一画（約30㎡）に置かれています。

当会は交流スペース・サロンにおいて、工学研究科・工学部、同窓生の皆様のご協力を得て、在校生を対象として卒業生が活躍している企業の活動を個別に紹介するイブニングセミナー、工学研究科・工学部の教職員、大学院生の親睦・交流を深めるプレミアムフライデーなどの新しい事業を積極的に展開しております。皆様も機会があれば3階にある当会事務局にぜひお立ち寄りください。

本年（2019）は当会創立100周年になります。本年11月30日（土）午後から千里阪急ホテルにおいて記念シンポジウム、その後記念パーティを開催いたします。内容の詳細は追って本会のホームページ及び工業会誌に掲載いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

ご報告を兼ね、本会の活動への皆様の一層のご支援・ご協力をお願いし、新年のご挨拶とさせていただきます。

（電気 昭和33年卒 35年修士）



年頭所感

新春のご挨拶

大阪大学・大学院工学研究科
工学研究科長・工学部長 田中敏宏

平成31年の年初にあたり謹んでご祝詞申し上げ、大阪大学工業会の皆様のご多幸を心より祈念申し上げます。また、常日頃より大阪大学工業会の皆様方からの温かいご支援を頂戴いたしておりますことに対し、改めて厚く御礼申し上げます。

大阪大学工学研究科・工学部は1896年に官立大阪工業学校が中之島に開設されてから数えると、2016年に120周年を迎えました。この120周年を一つの節目として位置付けるために、工学研究科のキャンパスの中心にある福利厚生棟を改築・増築し、新たな福利厚生施設は名称公募により“センテラスCentral Terrace”と名付けられ、北側の棟は6階建てとなり、3階には各種会議・講演会などができるサロンを設置いたしました。さらに3階の一角には、大阪大学工業会の事務所が2017年3月から入居されています。この3階のサロンでは、学内の教員・学生のみならず、大阪大学工業会を通じて卒業生の皆様等々、様々な方々が情報交換・意見交換ができる場になっています。また、昨年5月には、私どもの大先輩でいらっしゃる大川進一郎様からピアノをご寄付頂きました。この場をお借りして、改めて大川様に厚く御礼申し上げます。このピアノをご寄付いただきました機会に、教職員がこのセンテラスサロンに集い、多忙な教育研究活動や業務の合間に憩いのひとときを過ごせるように、Premium Friday for Engineeringと名づけた行事を工学研究科主催・大阪大学工業会共催のもと、2018年5月から始めました。既に、5月29日の「音楽とワインのマリアージュ」、6月30日の「日本料理の夕べ」、8月5日の「ビアパーティー」、10月5日の「工学四方山話と映画音楽の世界」、11月30日の「ショパン祭」、12月21日の「クリスマスパーティー」と6回開催しております。工業会の皆様にもご参加いただき、当日は、各回のテーマに沿った催しと、音楽会を開催し、軽食を取りながら、飛び入り参加のピアノ演奏なども含めて毎回盛り上げています。

工学研究科では、様々な教育研究活動がなされていますが、国際交流活動も高く評価していただいております。大学のグローバル化活動に対応して、海外の主要な大学との間で協定を結び、大学院の修士・博士に相当する学

位を両方の大学で取得するダブルディグリー制度の構築を目指した活動を行っています。5年前には、大阪大学の理工系では、ダブルディグリー協定はゼロでしたが、現時点で22の協定を主として東南アジアの主要大学と結んでいます。これにより、海外の大学のキャンパスと阪大のキャンパスが、互いに“海外キャンパス”になり、学生・教員が両方の大学で教育活動・研究活動を行い、学生は2つの学位を取得するシステムです。海外の優秀な留学生を阪大に迎える基盤にもなる国際教育の新たな展開を目指したものです。このプログラム構築は当初非常に難しいことが予想されましたが、工学研究科において、例えば生物工学系では40年も前から英語コースが準備され始め、それ以来、多数の留学生が課程修了後、東南アジア等の各国の大学においても活躍され、強い信頼関係が構築されておりますお蔭でダブルディグリー制度の導入を行うことができました。この話題に触れさせていただきましたのは、将来の人材育成のためには、過去に積み重ねられてきた人材育成の実績が非常に重要であり、また人材育成の成果が本当に生きてくるのには、10年、20年、場合によっては30年、40年の年月の歳月が必要であり、人材育成に対しては短期的な評価はそぐわず、長期的な視点を持って人材育成にあたるべきであると改めて感じたためです。過去に積み重ねられてきた人材育成の実績を活かした「将来に向かっての人材育成の取り組み」をじっくりと進めていく基盤構築を今後も引き続き、卒業生や大阪大学工業会の皆様と共に進めて参りたいと思っています。

我が国の将来を牽引できる人材輩出に力を注ぎ、その生き活きとした取り組みと実績が国内外から高く評価され、それがまたより一層の魅力・牽引力となって、将来を担う若い人たちを惹きつける阪大工学部・工学研究科でありたいと思っております。皆さまのご支援・ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

(冶金 昭和55年卒 57年前期 60年後期)

新年を迎えて

大阪支部長 太田 紀一

新年明けましておめでとうございます。

会員の皆様にはご清祥にて穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

支部長をお引受けして3年目に入ります。支部会員の皆様の温かいご理解とご協力により支部運営が少し位改善したと自負しています。

今後共支部会員のご協力をお願いする次第です。

1. 2019年度 大阪支部役員

- 支部長 太田 紀一 (造船 32)
- 副支部長 野田 耕市 (建築 33)
- 〃 安江 貞夫 (電気 34)
- 〃 村田 秀実 (応化 36) 三木会担当
- 〃 菅 健一 (発酵 37) ビールの会担当
- 〃 吉田 敏臣 (発酵 38)
- 〃 本村甚三郎 (応化 38) ゴルフの会担当
- 〃 島田壯八郎 (土木 40) 総務担当

2. 抱負

関西地区在住の大阪大学工学部卒業生の会員、特に現役の人達を増加したい。

その為には岡山支部の運営方針を参考にする。

- (1) 年に1回の懇親会で良いから開催
現役が参加し易い場所・時間・曜日を選ぶ。
- (2) 関西地区内で工学部卒業生が多く就職している地区に支部を設ける。
例えば、和歌山・京都・姫路等

大阪支部の会員におかれましては支部の各種会合に奮って参加して頂くと共に、色々ご提案たまわりたくお願い申し上げます。

(造船 昭和32年卒)



平成31年の新年を迎えて

東京支部長 池田 博昌

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様にはご清祥にて穏やかな新年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。支部長をお引き受けして18年目に入ります。支部の運営に当たり、会員の皆様の温かいご理解・ご協力に感謝しております。

大阪大学工業会は今年創立100年を迎え、11月に記念式典が予定されております。また東京支部は創立99年を迎えることになり、長い歴史のもと、ここまで発展してきたことは歴代役員のご努力の賜物と感謝しております。

今年は天皇のご退位があり、平成があと4ヶ月となります。昨年は、京都大学特別教授の本庶 佑氏がノーベル生理学・医学賞を受賞され、がん免疫療法に明るい道を開かれたことは大きな栄誉であります。また、自動車の自動運転については更なる大きな進展がみられました。スポーツの分野では種々の新記録が達成され一年を通じて楽しい年でした。米朝会談が開かれたことも明るい話題の一つでした。地球温暖化が進展し、豪雨、巨大台風、が来襲し、更には大地震に見舞われたことは悲しい結果となりました。被災された方々には心からお見舞い申し上げます。今年も明るい話題の大きな進展を期待して、明るい健康な生活を維持したいものです。

7年前に発足した大阪銀杏技術士会(阪大技術士会)は、着実な進展をしており、会員数は増加しており、100名を超えるまでになりました。阪大卒業生の中で技術士の資格をお持ちの方、資格取得に関心を持ちの方は会員登録を頂くと幸甚です。皆様のご理解をお願いします。

OKC東京支部の活動に関しましては、現役世代の参加を期待して総会の開催日を土曜日に変更してみました。思うような参加が得られず、残念な動きとなりました。ただ、今年も再度土曜日の総会を盛り上げる努力を続ける予定にしております。また、月例の夕方の「二日会」、昼食会としての「二水会」(昨年2月には第800回を迎えました)はいずれも会員相互の懇親を深める会として着実に開催しております。二日会には平均14名、二水会には平均8名の参加があり、毎月賑やかに話題が広がっております。二日会の日の午後に実施している「囲碁同好会」も毎月盛況です。四大行事と称している「総会」「ビールの会」「秋の集い」「新年会」では最近では60名程度のご参加を頂いております。「ゴルフ同好会」については春秋と開催してきており、参加者の若返りも進んでおります。さらに、経済学部・法学部OBとの懇親ゴルフでは久しぶりに優勝することが出来ました。当支部からは16名が参加しております。今年も1月初旬に予定しております。冬季には「スキー同好会」の活動も積極的に行われております。年末恒例となっている「大阪大学の集い」では工学部は他学部を凌ぐ多数の参加を頂いております。また、「カラオケ同好会」も好評です。旅行同好会は昨年「四国しまなみ街道から倉敷への旅」に9名が参加しました。

四大行事には多数の参加を期待して参加者の誘致に努力するなど、6名の副支部長の絶大なご協力により活性化に努力しております。本年も、支部活動のさらなる活性化に向けて引き続き取り組みますので、ご期待いただきたいと思っております。東京支部の会員諸氏におかれましては、支部の各種催事に奮ってご参加いただきますよう、年頭にあたりお願い申し上げます。

(通信 昭和34年卒)